

ループリック案

TOEIC	300-350	350-400	400-450	450-500	500-550	550-600	
Prism	Red (レベル1)	Rose (レベル2)	Violet (レベル3)	Indigo (レベル4)	Blue (レベル5)	Green (レベル6)	
CEFR-J	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	B2.2	
理解	聞くこと	ゆっくりはっきりと明確な発音で話されていれば、日常かつ具体的な話題や事柄（例えば公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンス、簡単な挨拶や自己紹介など）を理解することができる。	ゆっくりはっきりと明確な発音で話されていれば、日常かつ具体的な一連の指示（例えばスポーツや料理などの指示、旅行の行程等の社会生活における一連の行動など）を理解することができる。	はっきりと明確な発音で話されていれば、外国の文化に関する説明（例えば外国の行事や習慣など）を、必要に応じて質問をしたり背景知識を活用しながら聞き、概要を理解することができる。	自然な速さでも標準的な英語で話されていれば、興味関心のある具体的な情報（天気予報やテレビやラジオのニュース、空港のアナウンスや電話での会話、留守番電話のメッセージなど）を理解することができる。	自然な速さでも標準的な英語で話されていれば、母語話者同士の会話（テレビや映画など）や、やや抽象的な内容（時事問題や社会問題など）の要点について理解することができる。	非母語話者への配慮としての言語的な調整がなされていなくても、母語話者同士の多様な会話（テレビや映画など）や、抽象的で専門的な内容（現代社会の諸問題や専門分野のトピックになど）を、話者の意図や態度を推察しながら理解することができる。
	読むこと	簡単な語や構文を用いて書かれた短い文章であれば、身近な話題（例えば人物の描写や場所の説明、日常生活や文化の紹介など）を大まかに理解することができる。	簡単な語や構文を用いて書かれた文章であれば、実用的・具体的な情報（例えば旅行のガイドブックやレシピなど）を読んで必要な情報を探することができる。	平易な英語で書かれた文章であれば、写真やレイアウト、見出しなどから文章の内容を予測し、要点や手順（例えば申込書の記入の仕方やものの組み立て方など）を理解することができる。	ある程度長く、難しい語句が含まれている複雑な文章でも、辞書を用いたり、図表と関連付けたりしながら、理解することができる。またインターネットや文献を調べて学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。	ある程度長く、難しい語句が含まれている複雑な文章でも、やや抽象的な内容や社会的関心の高い内容を扱った文章（例えば新聞記事やレポート、専門分野の報告書や仕様書、マニュアルなど）を、複数の視点の相違点や共通点を比較しながら、詳細な情報まで正確に理解することができる。	ある程度長く、難しい語句が含まれている複雑な文章でも、書き手の意図や態度を推察しながら批判的な視点を持って正確に理解することができる。必要に応じて読む速度を変え、要点をつかんだり、必要な情報を探したり、文体の特徴を味わったりして読むことができる。
話すこと	やりとり	基本的な語句や表現を用いて、また補助となる絵や図などを用いて、身近で馴染みのある話題（例えば自己紹介や趣味の話題、道案内など）について、話したり質問したりして、情報の交換ができる。	簡単な英語を用いて、日常的な状況における自分の意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えることができる。	簡単な英語を幅広く用いて、身近なトピック（例えば、学校、趣味、将来の希望など）について、意見を表明したり情報を交換することができる。また、本や映画のあらすじを話し、感想や考えをやりとりすることができる。	日常生活の様々な場面（例えば病院やレストラン、駅など）でふさわしい表現を使って意志疎通を図ることができる。事情や問題の詳細を説明したり、丁寧な依頼をしたり、相手の意見に同意したり反対したりすることができる。	ある程度なじみのあるトピックや、学んだことのあるトピック、興味のある分野の話題について、要点をまとめて話したり、賛成や反対などの意見を交換することができる。	一般的な分野からある程度専門的な分野の話題まで、幅広いトピックの会話に積極的に参加し、自分の考えを正確かつ流暢に表現することができる。
	発表	基本的な語句や表現を用いて、また補助となる絵や図などを用いて、身近で馴染みのある話題（例えば自己紹介や趣味の話題、特技など）を説明することができる。	簡単な英語を用いて、身近な事柄（例えば自分や友人のこと、学校や地域のことなど）を説明したり、意見や計画を述べたりすることができる。	平易な表現を繋いで、馴染みのある話題や関心のある事柄（例えば自分の経験や将来の夢、自国や海外の文化など）を、順序立てたり話しを上げたりしながら、ある程度詳しく述べるることができる。	事前の準備があれば、関心のある現代社会の時事問題などについて、自分の感想や考えを、順序立てたり話を広げながらある程度詳しく述べることができる。	関心のある話題について、自分の主張や考えを、論拠や代替案などをあげたりしながら明確に述べることができる。	社会問題や時事問題について、補足的観点や関連事例を加えながら、主張や視点を明確に展開することができる。
書くこと	基本的で具体的な語彙や平易な構文を用いて、日常的・個人的な内容の文章（例えば招待状、手紙、メモやメッセージなど）を書くことができる。	簡単な英語を用いて、身近な事柄（例えば身の回りの出来事や趣味、場所、仕事など）について、簡単な描写や事実、意見を書くことができる。	平易な表現を繋いで、馴染みのある話題（例えば学校や職場、地域での出来事など）や関心のある事柄を、ある程度のみとまりを持って書くことができる。	専門的でない語彙や複雑でない構文を用いて、日常の様々な場面での文章（例えば映画や本の概要をまとめる、近況を詳しく伝える手紙を書く、お礼や謝罪のメールを書くなど）を書くことができる。	幅広い語彙や構文を用いて、自分の専門分野や関心のある話題について、ある程度のまとまりと一貫性を持って自分の考えを展開したり、必要な情報を報告したりすることができる。	幅広い語彙や構文を用いて、自分の専門分野や関心のある話題について、読者を念頭においた効果的な文章（例えば原因や結果を考慮する、情報を統合して議論を整理する、重要点と補足事項を明確にする、論理展開を明確にするなど）を書くことができる。	